

# ～ 荒廃農地を活用した有機農業の展開～

長野県立科町

中間農業地域

取組主体:モアーク農産株式会社  
長野たてしな農場

取組開始時期:平成24年

解消面積:1.3ha(平成30年3月時点)

導入作物:ラディッシュ、ベビーリーフ等

## 1. 取組のきっかけ・経緯

当町は、蓼科山の麓で四季折々の美しい自然に囲まれた標高1,000m以上の冷涼な高原気候を有し、高原野菜の栽培が盛んに行われていたが、高齢化による農業従事者の減少などにより、農地管理が十分に行われず、荒廃化が進行していた。

## 2. 取組内容

取組主体は、茨城県つくば市で有機野菜の生産を基盤に、安心安全食品の加工販売等を行う「モアーク農産(株)」が、平成24年に7月に当町の荒廃農地を利用権設定等促進事業により借り受け、農業参入。その後、農地中間管理機構の農地売買支援事業を活用し、経営規模を拡大。

荒廃農地の再生には、「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」を活用して、1.3haを再生した。

また、品質にこだわった有機野菜を栽培する「長野たてしな農場」を設立し、有機農業によるラディッシュやベビーリーフ等の栽培を行っている。

## 3. 今後の課題・予定など

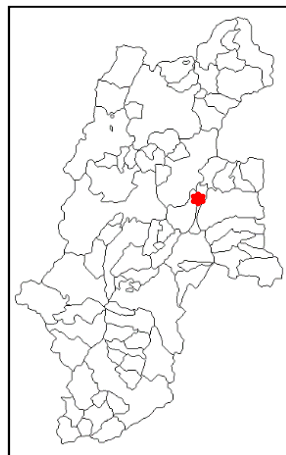
立科町、県地域振興局、農地中間管理機構と連携し、荒廃農地再生の取組を推進するとともに、観光農園や、6次産業化の取組を進めていく。

有機野菜の流通量を増やす体験イベント、農場見学ツアーなど様々な活動を行い、有機農業を広げる活動を推進していく。

## 4. 活用した補助事業等

(国)耕作放棄地再生利用緊急対策交付金

(補助内容:平成25～28年度、1.3ha、再生作業、土壌改良等)



再生後(ラディッシュ、大根、ブロッコリーの栽培)



再生後(ベビーリーフの栽培)